

# 会 告

## 日本鉄鋼協会技術講座開催のお知らせ

本会では会員各位をはじめ関係各位のご要望により、鉄鋼界にあつて製造、研究の業務に携わる人々が常識として把握しなくてはならないテーマを広く取り上げ、それぞれの権威者から最近の動向、発展の方向についてお話し願ひ、互いに討論し合うために、日本鉄鋼協会技術講座を設けることになりました。

技術講座は毎月あるいは隔月に1回開催し、そのほか講習会を随時開催するよう現在企画検討中でありますので各位のご協力をお願い申し上げます。

第1回の技術講座は下記のテーマにて開催いたしますので、お誘い合わせのうえ奮つてご参加下さるようご案内いたします。

### 記

1. 日 時 昭和 40 年 12 月 15 日 (水), 16 日 (木)
2. 会 場 大和証券ホール (8 階) 東京都中央区八重洲 1-2-4  
(東京駅八重洲北口下車徒歩 5 分, 都電一呉服橋, 地下鉄一日本橋下車) 呉服橋交差点角
3. テーマおよび講師  

第 1 日 (12月15日 10:00~17:00)	鋼中ガスの影響について	東北大学教授 金属材料研究所	今 井 勇之進
		住友金属工業(株)東京技術部次長	下 川 義 雄
第 2 日 (12月16日 10:00~17:00)	真空脱ガス法の現状ならびに問題点	(株)神戸製鋼所中央研究所	成 田 貴 一
		富士製鉄(株)広畑製鉄所研究所	浅 野 鋼 一
4. テキスト 実費
5. 問 合 先 東京都千代田区丸の内 1-1 交通公社ビル  
日 本 鉄 鋼 協 会

## 会費払込みのお願い

昭和41年分会費の納入期日(12月31日)が迫りました。期限内にお払込み下さいますようお願い申し上げます。

お払込みには綴り込みの振替用紙を利用されるか、定額小為替証書または現金書留によるご送金が便利かと思われ

ます。会費払込み方法については、毎年12月に翌年分を一度にお払込みになるか、または12月に翌年1月から6月までの6カ月分を、6月にその年の7月から12月までの6カ月分を二度にわけてお払込みいただくことになっております。

### 記

- |       |                           |            |       |
|-------|---------------------------|------------|-------|
| 会 費   | 正会員 2000円                 | 学生会員 1200円 |       |
| 送 付 先 | 東京都千代田区丸の内 1-1 日本交通公社ビル8階 |            |       |
|       | 日 本 鉄 鋼 協 会               |            |       |
|       | 振替貯金口座                    | 東京         | 1 9 3 |

## Tetsu-to-Hagané Overseas 投稿論文寄稿規程について

Tetsu-to-Hagané Overseas はすでにご承知のごとく、広く海外へわが国の技術を紹介する目的で昭和 36 年より発行してまいりました。以来今日では、海外における会員ならびに購読者数も漸増し、非常な好評を得るにいたっております。

本会編集委員会では昭和 38 年「鉄と鋼」寄稿規程を改善し、以来内容の充実をはかつてまいりましたが、ひきつづき Overseas の寄稿規程についても検討してまいりました。今までは原則として、「鉄と鋼」に掲載された論文中より選定し、掲載してまいりましたが、会員各位の強い要望により、今後自由投稿の形式をとり、わが国の優れた鉄鋼技術ならびに研究内容をより速みやかに海外へ紹介できるよう新たに Tetsu-to-Hagané Overseas 論文寄稿規程を設け、昭和 41 年 1 月 1 日から実施することになりました。

本会では会員諸兄のご協力を基に、本誌を内容の充実した権威ある学会誌とすべくさらに一段の努力を重ねていきたいと考えております。本会の意を諒とせられ奮つてご投稿下さいますようお願いいたします。

## 「Tetsu-to-Hagané Overseas」論文寄稿規程

(1) 本協会会員は本寄稿規定に従い、本協会英文誌「Tetsu-to-Hagané Overseas」に論文を寄稿することができる。

(2) 論文は、本誌に載せる前に、ほかの学協会誌およびそれに類する刊行物に欧文（英、独、仏）により発表されていないものに限る。

(3) 論文は、著者の独創的研究成果を主体としてまとめられたものとし、その研究成果がひろく鉄鋼に関する学術ならびに技術へ寄与すると認められるものでなければならない。

(4) 論文は、研究目的、研究方法、研究結果、考察（従来の研究との比較検討を含む）結論などが、正確にかつわかりやく記述されているものとする。

(5) 論文は英文とする。英文は正確であることはもちろん、文章の書き方が学術論文あるいは技術論文にふさわしい格調をもっていることが要求される。

(6) 論文には必ず 500 語以内の synopsis を添付する。synopsis は、それによつて論文の要旨が具体的にわかるように書かれていなければならない。

(7) 英文原稿の本文は、厚手のタイプ用紙（A 4 判）に上下おのおの約 3 cm の余白を残し、27 行詰、ダブルスペースとし、タイプライターをもつて清書する。英文原稿（図、写真、表を含む）は正副 2 通、論文および synopsis の日本語訳各 1 通（本会所定の原稿用紙使用）を提出する。また日本文原稿の左側に英文ページの変り目を書き入れる。

(8) 論文の原稿の長さは、表を含めてタイプ用紙 30 枚（表は 1 表をタイプ用紙 1 枚とみなす）以内とし、図、写真は原則として 10 枚以内とする。同一事項を図、表両方で表わさない。

(9) 単位は原則として CGS 単位系を用いるが、電磁気量の場合には MKS 単位系を用いてよい。単位の略記号は国際的慣用に従う。周知でない単位には略記号を用いない。

(10) 元素名、合金名、化合物名、学術用語などで、本文中にしばしば出てくるものは、文章の短縮を目的として記述の明確さを失なわない程度に、なるべく化学記号その他の略記号によつて示すが、その論文の主題となつている研究の領域で慣用的な短い名称、用語は記号表示しない。略記号を用いる場合には、本文中それが最初に出てくるところでその略記号の意味を明示する。（例）Austenite ( $\gamma$ )……, Lankford value (R)。

(11) ギリシャ文字、記号、上ツキおよび下ツキ添字などをペン書きするときにははていねいに記し、混同しやすい文字、記号はとくに注意して書く。（例  $a$  と  $\alpha$ ;  $P$  と  $p$  と  $\rho$ ;  $O$  と  $o$  と  $0$ ;  $Fe^{2+}$ ,  $PH_2O$ ）ゴシック、イタリックを指定するときは、その文字の下にそれぞれ  $\sim$ ,  $\text{—}$  を付ける。

(12) 数式は印刷に便利のように注意し、 $a/b$ ,  $(a+b)/c$  のように、不明確にならない程度になるべく少ない行数で表わすように書く。また数段にわたる複雑な数式はタイプでなくペン書きとする。

(13) 表、図、写真には別々に通し番号および説明文を付ける。その説明文のみによつて表、図、写真の意味が理解できる程度に簡潔に書く。写真には必ず倍率を記入する。

(14) 図および写真は横の刷り上がり寸法が下記のいずれかの寸法となるように、刷り上がり寸法の 2~3 倍とし、下記縮尺記号を赤字で記入しておく。（イ）横 8cm（縮尺記号 A）（ロ）横 17cm（縮尺記号 B）  
刷り上がり後の縦の寸法は 25cm 以下とする。

図は厚手の白紙、オイルペーパー、または青色方眼紙を用いて正確に書き、図および図中の文字はローマン体で縮尺を考慮して十分な大きさおよび間隔をもつて正確に書く。

(15) 表, 図, 写真は散逸を防ぐため, タイプ用紙と同じ大きさの台紙に貼付し, 右下隅に著者名を記入する. 表, 図・写真は原稿本文中に挿入せず別紙とし, 原稿中には右欄外にそれらの挿入箇所を指定する. 原稿本文中に表, 図, 写真挿入箇所を指摘し空白にあげない.

(16) 参考文献は通し番号を付け, 本文の最後一括して番号順に示し, 本文中における文献引用箇所にはその文献の番号(かっこ付き)を上つき小数字で示す.

参考文献は, 著者名: 雑誌名, 巻数, 発行年度, 号数, ページ数 の順に記載する.

(例) R. K. GLASS: Blast. Furn. & Steel Plant, 64 (1958) 2, p. 198~204

雑誌名は付表の略記例に従う. 単行書は著者名: 書名, (発行年度) ページ数, [出版社名] の順に記載する.

(17) 寄稿論文の受理年月日は, 原稿が本協会に到着した日付とする. 論文の内容の主要部が本協会講演大会あるいは会誌「鉄と鋼」で発表されている場合には, その講演論文または論文を脚注として示す.

(18) 寄稿論文は編集委員会において審査される. 審査の結果, 修正, 加筆, 削除などが要求され, 原稿をいつたん著者に返送することがある. その場合修正原稿を1ヵ月以上経過して協会に再提出したときは, 新規提出とみなされる.

(19) 掲載論文については希望に応じ, 所定の料金で別刷を作製する.

## 付 表 文 献 略 記 例

雑 誌 名	略 記	雑 誌 名	略 記
Acta Metallurgica	Acta Met.	Journal of the Iron and Steel Institute	J. Iron & Steel Inst. (U. K.)
American Foundrymen's Society, Preprint	Amer. Foundrym., Preprint	Journal of Metals	J. Metals
American Institute of Mining, Metallurgical and Petroleum Engineers,		Les Mémoires Scientifiques de la Revue de Métallurgie	Mém. Scient., Rev. Mét.
— Blast Furnace, Coke Oven & Raw Materials Committee, Proceedings	Proc. Blast Furn.	Metal Finishing	Metal Finishing
— The Electric Furnace Committee, Proceedings	Proc. Electr. Furn.	Metal Finishing Journal	Metal Finishing J.
National Open-Hearth Steel Committee, Proceedings	Proc. Open-Hearth	Metal Progress	Metal Progress
American Iron and Steel Institute, — Annual Statistical Report	Amer. Iron & Steel Inst. —, Ann. Stat. Rep.	Metal Treating	Metal Treating
— Contribution to the Metallurgy of Steel	—, Cont. Met. Steel	Metalloberfläche	Metalloberfläche
American Society for Metals, Preprint	Amer. Soc. Metals, Preprint	Metallurgia	Metallurgia
American Society for Testing Materials,	Amer. Soc. Test. Mat.,	Metallurgia Italiana	Met. Ital.
— Preprint	—, Preprint	Métallurgie et la Construction Mécanique	Mét. et Constr. Mécan.
— Special Technical Publication	—, Spe. Tech. Pub.	Modern Castings	Mod. Castings
Archiv für das Eisenhüttenwesen	Arch. Eisenhüttenw.	Revue de Métallurgie	Rev. Mét.
Blast Furnace and Steel Plant	Blast Furn. & Steel Plant	Schweissen und Schneiden	Schweissen u. Schneiden
British Iron and Steel Research Association, Reports	Brit. Iron & Steel Res. Assoc., Rep.	Sheet Metal Industries	Sheet Metal Ind.
British Welding Journal	Brit. Welding J.	Stahl und Eisen	Sahl u. Eisen
Centre de Documentation Sidérurgie, Circulaires d'Informations Techniques	Centre Doc. Sidér., Circ. Inform. Tech.	Stal	Stal
Corrosion	Corrosion	Steel	Steel
Foundry	Foundry	Steel Processing	Steel Process.
Foundry Trade Journal	Foundry Trade J.	Transactions of the Metallurgical Society, American Institute of Mining, Metallurgical & Petroleum Engineers	Trans. Met. Soc., Amer. Inst. Min., Met., & Pet. Eng.
Giesserei	Giesserei	Transactions of the American Society for Metals	Trans. Amer. Soc. Metals
Iroa Age	Iron Age	Transactions of the Institute of Metal Finishing	Trans. Inst. Metal Finishing
Iron and Coal Trades Review	Iron & Coal Trades Rev.	Transactions of the Institution of Mining and Metallurgy	Trans. Instn. Min. & Met.
Iron and Steel	Iron & Steel	Transactions of the Society of Automotive Engineers	Trans. Soc. Auto. Eng.
Iron and Steel Engineer	Iron & Steel Eng.	United States Bureau of Mines, — Bulletin	U. S. Bur. Mines. —, Bull.
Iron and Steel Institute, Special Reports	Iron & Steel Inst., Spec. Rep. (U. K.)	— Information Circular	—, Inf. Circ.
Jernkontrets Annaler	Jernkont. Ann.	— Mineral Industry Survey	—, Miner. Ind. Survey
Journal of the Institute of Metals	J. Inst. Metals	— Minerals Yearbook	—, Miner. Yearbook
		— Report of Investigations	—, Rep. Invest.
		Welding Journal	Welding J.
		Werkstoffe und Korrosion	Werkstoffe u. Korrosion
		Wire and Wire Products	Wire & Wire Products
		Zeitschrift für Metallkunde	Z. Metallkunde

## Tetsu-to-Hagané Overseas (第5巻 第2号)

### 発行のお知らせ

Tetsu-to-Hagané Overseas 第5巻・第2号(季刊・A4版)を発行いたしましたのでお知らせいたします。  
購読をご希望される方は、下記宛お申し込み下さい。

#### 記

頒 価 会員 900円 非会員 1440円  
申 込 先 東京都千代田区丸の内 1-1 交通公社ビル8階  
日 本 鉄 鋼 協 会

#### 目 次

第5巻・第2号 (Vol. V, No. 2, 1965)

Commemorative Functions of the 50th Anniversary .....	(69)
Institute Announcement and Reports —50th General Assembly and 69th Grand Lecture Meeting— .....	(96)
Lecture Subjects for the Preprints for 69th Grand Lecture Meeting of The Iron and Steel Institute of Japan .....	(98)

#### Research Articles

Relation between Solidification Rate of Ingots and Segregations of Sulphur, Phosphorus, Oxygen and Nitrogen .....	(105)
By Yoshitaka Nakagawa and Akitsugu Momose	
On the Behaviour of Sulphide and Selenide Inclusions Formed in Steel Containing Chromium and Molybdenum .....	(112)
By Toru Araki, Haruhiko Hirai, Yukio Matsushita and Tōru Karasudani	
Hot Impact Extrusion of Steel .....	(123)
By Tomoyoshi Kawada, Masatoshi Suzuki, Tomoyuki Takeuchi, Sadao Ikeda and Tomoo Kumabe	
Abstracts from the Journal of The Iron and Steel Institute of Japan, March and April 1965.....	(130)
Crude Steel Production Marks 100 Million Tons at Yawata Works .....	(154)
Iron and Steel News.....	(163)
Contents of Recent Articles on Iron and Steel Published in Japan .....	(166)
Japanese Patent Applications Published .....	(168)

#### Introducing Steel Plants and Products

Sakai Works, Yawata Iron & Steel Co., Ltd. ....	(170)
Wakayama Works, Sumitomo Metal Industries, Ltd. ....	(172)

## 第 71 回 講 演 大 会 案 内

— 4 月 5 日 ~ 8 日 —

第71回講演大会の開催日が決定いたしました。来春は第51回通常総会も開催されますが詳細は追って本誌会告をもつてお知らせいたします。

記

講演大会

- 期 日 昭和 41 年 4 月 5 日(火)~7日(木)  
 会 場 東京大学 (東京都文京区本郷7-3-1)  
 講演プログラム 「鉄と鋼」第52年第2号にて発表いたします。  
 講演論文集 「鉄と鋼」第52年第3号および第4号を講演論文集として発行いたします。  
 見学会 日本金属学会と合同  
 期 日 昭和41年4月8日(金)

### 会員名簿発行ならびに分譲のお知らせ

本年は会員名簿の発行の年に当り、12月中旬に刊行の予定で現在編集作業を進めております。記載事項についてはできるだけ正確を期すため、会員各位にお問い合わせをいたしましたところ、多大のご協力をいただきありがとうございました。

本名簿は下記のように豊富な内容を盛り込み、会員相互の便宜が十分はかれるよう編集いたしております。本名簿は有償頒布となりますができる限り多くの皆様にご利用いただきたく下記ご案内申し上げます。

なお、問合せハガキの名簿購入欄に「要」とお書込みいただいた方も、下記申込用紙にて現金同封のうえお申し込み下さるようお願い申し上げます。本名簿を刊行後ただちに入手されたい方は**12月10日**までにお申し込み下さい。

記

- 1) 名簿内容
 

定款・細則	役員	名誉会員	
賛助会員	維持会員	正会員	
外国会員	出版物リスト	表彰	支部役員
関連団体リスト			
	会社・大学研究所		
	会社工場		
- 2) 刊行予定 昭和 40 年 12 月中旬
- 3) 分 譲
 

価 格	会 員 300円 (送料不要)
	非会員 600円 (送料実費)
- 4) 申込方法 本誌添付の申込用紙にて代金同封のうえ現金書留にてお申し込み下さい。
- 5) 申 込 先 東京都千代田区丸の内1の1 日本交通公社ビル8階  
 日 本 鉄 鋼 協 会

.....切.....取.....線.....

### 会 員 名 簿 申 込 用 紙

氏 名			
部 数	部	送 金 額	
名簿送付先			
領 収 書	要	不要	
領収書送付先			

## 8 学 会 互 報 欄

本会会員は、すべて主催団体会員に準じた取扱いで参加できます。詳細は主催団体へお問合せ下さい。

行 事 名	開 催 日	会 場	会 費	主催団体	申込締切
技術講座 鋼中ガスの影響について 真空脱ガス法の現状なら びに問題点	40. 12. 15(水) 10・00～ 40. 12. 16(木) 10・00～	大和証券ホール 〃	無 料	日本鉄鋼協会	
内燃機関の最近の進歩に 関する講習会	40. 12. 6(月)～7(火) 9・00～	全通会館ホール	2000円	日本機械学会	40. 11. 25
第3回燃焼シンポジウム	40. 12. 10(金)～11(土) 9・30～	日本化学会講堂		〃	
連続河過に関する講演会	41. 1. 20(木) 13・00～	〃		〃	
最近の自動車工業に関する 講習会	41. 1. 21(金)～22(土) 9・00～	発明会館ホール	2000円	〃	41. 1. 10
各種荷役、運搬機械に関す る講習会	41. 1. 26(水)～27(木)	〃	2000円	〃	41. 1. 15
宇宙技術講習会	41. 1. 28(金)～29(土)	日本化学会講堂		〃	
非接触測定技術に関する 講習会	41. 2. 18(金)～19(土) 9・00～	発明会館ホール	2000円	〃	41. 2. 5
空気調和と冷凍装置に関す る講習会	41. 2. 23(水)～24(木) 9・00～	土木学会講堂	2000円	〃	41. 2. 10
討論会 —建築を考える—	40. 12. 11(土) 14・00～17・00	全共連ビル 4階大ホール	無 料	日本建築学会 関東支部	(懇親会 締切 40.12.5 会 員 700円 会 員 外 1000円)